

議事録（要約）

村と企業局との「第2回座間味浄水場建設に係る意見交換会」（要約）

[文責：求める会事務局]

2019年1月10日（木）午後5時30分～7時の部

【出席者】

座間味浄水場建設予定地の変更を求める会＝1人

阿真区ウミガメと里海を守る会＝1人

座間味ダイビング協会＝3人

座間味村ホエールウォッチング協会＝1人

沖縄県企業局＝4人 座間味村＝3人

1. 村役場あいさつ

12月26日に新たな陳情が出て高台案が提案されたので、それに対する企業局の説明と意見交換を行いたい。座間味村の水道施設は老朽化や水質悪化など深刻な状態。このままだと近い将来「飲用摂取制限」（沸騰させてから飲むなど）の措置を取らなくてはならなくなる。観光立村・座間味島のイメージダウン。不安を煽るものではないが、このような状態にならないよう、安全な水の供給ができるよう、住民の理解と協力をお願いしたい。

2. 企業局あいさつ

これまで2回の説明会や意見交換会など開き、住民の懸念に対応して、放流先の変更、ダム下流域の地権者調査などやったが、今回、ダム下流域等が取り下げられ、今度は、高台の「阿真チジ」「旧ゴミ捨て場」の提案。しかし、浄水場建設のスケジュールは当初計画より遅れ、すでに32年度供用開始は不可能な状況。水質悪化もあって建設を急ぐ必要がある。さらに財源の確保の期限もある。フラットな考えで状況を説明し、ご理解いただくのが浄水場建設の近道と考える。主体的に実現可能な候補地は阿真キャンプ場である。「阿真チジ」「旧ゴミ捨て場」の課題を丁寧に説明し、住民の意見を伺いたい。企業局の努力だけではどうしてもなし得ないことがある。高台は自然公園法の特別地域であり、許可が得られるかどうかは、環境省の管轄である。また、一括交付金の期限があり、33年度までに建設できなかった場合、予算の裏付けができず、事業自体が実現できなくなる。マイナス要素もご理解いただき、阿真キャンプ場に同意いただければ、事業を確実に実現できる。

3. 企業局の資料説明

企業局の考えをまとめた資料3枚綴り／陳情書（12/26 県議会議長宛＋12/5 日本自然保護協会）計6枚／【比較検討】予定地と提案地の所見表資料1枚（A3サイズ）／地図と「阿真チジ」「旧ゴミ捨て場」景観の写真5枚綴り／阿真チジの仮設計図1枚（A3サイズ）

4. 質疑応答

【住民 A】 予算と水質の課題は、住民はよく理解している。しかし、説明会自体がズルズルと来て、予算の期限があると言われて、卑怯なやり方ではないか？

【企業局 A】 これまで 2 回の説明会、意見交換会など、我々としては、主体的に実現可能な場所を、何度も丁寧にご説明してきたつもりだ。しかし、それでも住民から異議が出ているということで、県議会でもっと説明をしっかりとやりなさいと言われ、こうやってまた意見交換の場を設けた。後で聞いていなかったということのないよう、隠すことなくすべてオープンにして、具体的に説明する。

【住民 A】 『座間味村の地域防災計画』の中にも 5m 以上の津波の想定がある。国の指針にも浄水場は高台が望ましいと書いてある。津波が来たら、近隣の島も沖縄本島も被災する。予測できない津波が来れば、観光客も閉じ込められる。何よりも大切な水を作る浄水場が被災したら…。本当に、住民や観光客のために真剣に考えているのか？

【企業局 B】 座間味は水源が低い位置にあるため、津波が来たらポンプも被災し、停電もするので、高台で浄水場だけが生き残っても稼働できず、水が作れなくなるのは同じと考えている。

【住民 A】 では、この国の指針は間違っているのか？阿真キャンプ場にこだわるのが不思議でならない。楽な方に走っているようにしか思えない。

【企業局 A】 楽しんでいるわけではない、他に場所がなかった。

【住民 B】 国の指針でも更新時に高台に、電気も同じように段階を踏んで、津波の被害を受けない場所に移設して、時間をかけて津波に強い国づくりをするのではないのか？

【企業局 B】 我々は、電力会社の者ではないので。

【住民 B】 そういうことを言っているんじゃない。どうせ停電するから高台に上げる必要はないという考え方がおかしい。他の島は、ほとんど津波の被害を受けない高台の既存施設内か隣接地に造られる。渡嘉敷も、高月山と同じ条件の高台に建てられるのに、なぜ座間味だけできないのか？

【企業局 C】 渡嘉敷も平地で探したが、地権者が売ってくれなかったので、仕方なく高台にした。環境省にも、「どうしても造る場所がない」ということで調整して申請。

【住民 A】 津波が来ても、電気ガスは水よりもまだなんとかなる。しかし、水は可

搬型の海淡を持ってきて対応とか、本当に間に合うのか？

【企業局 A】 調整池に 1 人 1 日 30、その後 300 の計算で水を確保しておく。

【住民 C】 停電しても、浄水池も高台にあれば自然流下で使える。

【住民 B】 なるべく高台を探すべきだったのでは？

【企業局 B】 だから、先ほどから話すように、水源や電源が低い位置にあるので、浄水場だけが残っても稼働できない。総合的に判断して、阿真キャンプ場がベターだと。

【住民 D】 津波が来たら、座間味ダムも大川良堰も被災するのか？

【企業局 B】 水源自体は被災しないが、水を送るポンプが被災する。ポンプは水面より高いところにはできない。

【住民 B】 じゃあ、浄水場と同じように、防水対策すればいいんじゃないの？

【住民 E】 単純な話。阿真キャンプ場に造ることをほとんどの住民が反対している。高台がいいと。

【企業局 A】 住民の本当の総意を確認したい。村の総意はどこにあるのかを把握したい。

【住民 E】 浄水場建設には誰も反対していない。ただその場所が、なぜ、阿真キャンプ場なのか？なぜそこにこだわっているのか？反対する声は高まっている。高台がいいんじゃないかと。阿真キャンプ場でいいと賛成した人は、説明会でも 80 名中 2, 3 名しかいなかったと思う。実際に賛成は何名いるか？

【村役場 A】 賛成の人は、実際には、賛成だから説明会に来ていなかったのじゃないか？

【住民 F】 ちょっと待って、それは、少しおかしい考え方だと思う。

【住民 A】 逆に、なぜ阿真キャンプ場に賛成なのか、私には分からない。あの場所は子や孫に残すべき場所。さらに津波の問題も出てきたから、ますます、あそこでやるというのが不思議でならない。住民を対象にした見直しの署名活動に、ひどい圧力がかかった。それでも署名は過半数超えた。2 回目の説明会で完全に「阿真ありき」だった。その後の説明会開催を求めても「必要ない」と捨て台詞で、ゴリ押しに感じた。

【住民 B】 1 回目の説明会と 2 回目の説明会で態度が大きく変わった。疑念を感じる。今回も「環境省の許可が必要」という言い方ではなく「環境省の許可を得られる可能性が低い」という変な言い方。裏で環境省と話しして、許可を出すなど、誰かが言っているのか？

【企業局 B】 法的な許可基準に、「他の場所で目的を達成することができない場合に、許可できる」となっている。

【住民 B】 そりゃ、必要だったらもらえるはず。渡嘉敷は同じ条件でもらえているではないか。

【企業局 B】 渡嘉敷は他に造る場所がなかった。座間味については、「他の場所で造れない」と、我々は環境省に言えない。その許可基準を読む限り、許可を得るのは難しいと判断した。

【住民 F】 でも、僕ら住民はキャンプ場に造らないでほしいと願っているじゃないか？！それは理由にならないのか？

【企業局 A】 我々の努力では成し得ない部分。環境省の許可が得られなかったら、何年もかかってしまう。なので、主体的に実現可能な場所としてキャンプ場を選定し、進めてきた。

【住民 B】 住民も村も要望して、多くの住民が高台を要望していると伝えたら、通る話ではないのか？

【企業局 A】 その判断が環境省なので。

【住民 B】 行政と企業局が望んでいないからできないのでは？ 1 回作文作って上げてみるだけでもやれないのか？

【企業局 A】 島民の総意が本当にそこにあるということであれば…。

【住民 A】 みんな「ほとんどの人が反対している」と言っているのに、村は「本当に反対者はいるの？」と言う。署名活動では心の弱い人たちにたくさんの圧力がかかった。すごい圧力があつたから、署名用紙には「村と企業局には見せない」と但し書をした。声を大にして言えない村内の事情もある。

【村役場 B】 ちょっといいですか？最初はテニスコートやダム下流域の話だった。それが今、高台。でも景観とか環境の負荷がある。仮に高台が理想だとして、阿真チジに変更した場合、擁壁も造らなければならない、景観も損なわれる。どちらをとるかということになるが、阿真チジに造るとしたら、予算の期限をオーバーしてしまう。

【住民 A】 阿真チジで、ぜひがんばってほしい。擁壁は、切土盛土でできる。レイアウトも工夫できる。僕は1番に応援するよ。現場に行つて。

【住民 C】 そう、盛り土するから、そんなには…。

【村役場 A】 阿真チジに造るとしたら 10m 以上の擁壁を造ることになると思うが、人工物は劣化する。50 年とか 70 年持つのか？

【住民 A】 施設の対応年数は？

【企業局 A】 機械は 15 年、構造物は 50 年以上。ただ、この図面は素案で、本当にこのようにできるのか、また、予算のアテがないというところで、この場所でちゃんとできるかどうかお約束ができない。

【住民 E】 前回も言ったが、利害関係もある。そのことについて多くの村民が言いたいことがある。その辺も考慮して検討してほしい。

【村役場 B】 その利害関係は事実に基づいているのか？村にはそういう情報はない。企業局も関係ないと思う。

【住民 E】 事実と噂、両方ある。それで、みんな不安がっている。知らないなら、それこそ、みんなに聞いた方がよい。

【村役場 B】 では、もしも利害関係がないとしたら、キャンプ場でよいということか？

【住民 E】 そうではない、総合的に決めることだ。みんな関係している。それで感情的に嫌に思つて、反対している人もいる。そもそもキャンプ場周辺の自然や観光地の損失もある。そういうことも含めて総合的に検討すべきだ。

【村役場 B】 利害関係を調べるのは企業局の仕事ではない。

【企業局 A】 浄水場を造る企業が、利害関係を引き合いに出されること自体、残念に思う。離島の地域格差をなくすために、我々は、島民のために努めているのに…。

【住民 B】 じゃあ、その格差をなくすために、同じように高台を検討してほしい。渡嘉敷と同じように、高台案を。

【企業局 A】 大多数の住民がそう言うのであれば、そこに見直すのも、やぶさかではない。しかし、時間がなかったり予算のアテが。今の案だったら、

2,3年後には必ず新しい浄水場から水を供給すると約束できるが、見直せば、遅れ、水質の問題もどうなるか、我々も不安。

【住民 D】 その水質について、今どれくらい悪いのか具体的に教えてほしい。住民も不安になると思う。どれくらい危険なのか？

【企業局 C】 水質基準項目 51 項目のうち、座間味でよく超過するのは総トリハロメタンなど。ダムの中に溜まった有機物を、塩素で消毒する際に発生するもの。年間 12 回の検査中 7 回超過。今の浄水場だと水源の悪化に追いつけない。これからは超過するかもしれないし、超過項目も増えるかもしれない。33 年度までの交付金で企業局がそれを是正する。期限を超えると交付金がなくなり、本島の事業体にも負担がかかる。本当にそこがダメだという住民の総意があるなら、場所を見直すこともやぶさかではないが、キャンプ場用地があるのに、他の場所に変えて遅れてしまうことを、我々としては、他の事業体に説明できない。

【住民 D】 詳しくわかったが、聞きたいことが分からなかった。実際に今、水質はどれくらい危険なのか？

【企業局 A】 「今すぐに、健康被害があるわけではない。水質基準の超過が増えてくると何らかの影響がある。例えば、トリハロメタンは、長く摂取して異常が出る。大人が毎日 10 の水を飲んだ時、70 年飲み続けて、10 万人とか 100 万人に 1 人の割合で、発ガンのリスクがある。

【住民 D】 トリハロメタンの発生の原因になるダムに溜まった枯葉などの有機物を減らす方向の努力はできないのか？大元をなんとかしないことには、水質はどんどん悪くなる。

【企業局 C】 それはダム管理の中で、浚渫とかということになるので、我々の範疇ではない。ダムは我々の管理ではないので、現実問題として難しい。それで、水源の水は悪化することはあっても良くなることはないので、将来的に水質基準値の超過は増える可能性がある。

【企業局 A】 けっして不安を煽るものではないが、現状を知ってもらって、判断していただきたいので、お話ししている。スピード感を持ってやっていきたいことは、ご理解いただきたい。

【村役場 B】 最後に、利害関係についてだが、村は利害関係のある人とつながっているわけでもなく、村と県が結託しているわけでもない。皆さんは代表者なので、会員の皆さんに聞かれた際には、そういうことは一切ないと伝えてほしい。

2019年1月10日(木)午後7時30分～9時の部

【出席者】

(住民2人から聞き取り)

座間味青年会=2人

座間味婦人会=2人

阿真婦人会=欠席

阿佐女性の会=欠席

沖縄県企業局=4人

座間味村=2人

1. 村役場挨拶 2. 企業局挨拶 3. 企業局の資料説明(省略)

4. 質疑応答

【住民G】

- ・ まず、前日も言ったが、会の代表として集められても、個人的な意見しか言えない。次は全体でやってほしいとお願いしたから2回目もやるとは思わなかった。全体でやってほしい。

(【企業局】1月24日に全体の住民説明会を開催予定)

【住民H】

- ・ 前回の意見交換会後に県議会で「反対は1人」と答弁したのは、ズルくないか。そういう答弁をするのであれば、全体の数、出席欠席の数、反対賛成、どちらでもない数や理由など、誤解を生まないよう、きちんとすべてを説明するべきではないか?

(【企業局】だますつもりはなかった。)

うちの会には役場職員もおり、会として反対賛成を表明しにくい立場となっている。その説明をした上で、『個人的な意見を聞きたい』との事で意見交換会に参加させて貰ったのに、『反対』と言わなかったことで、『賛成している』と取られたのは、裏切られた気持ちだ。会の中では個人的には見直しの意見が多くある。

- ・ 津波リスクも最初から話してほしかった。

(【企業局】隠すつもりはなかった。住民からは、今まで、環境の話しか出ていなかった。)

津波とか一般住民には分からない。最初からすべて隠さず話してくれたら、今までの話し合いが無駄にならずに済んだのではないか?

- ・ 会員に1/24までに今回の話を伝えてほしいと言うが、みんなを集めるのはそんな簡単な話ではなく、みんな暇ではない。

- ・ 頻度の高い津波 L1 の具体的な想定図や阿真チジのボーリング調査結果など、もっと具体的なデータを開示してくれないと判断がつかない。
 - ・ 阿真チジで浄水場を造ると、森林伐採などの環境負荷が大きいと言うが、すでに今の阿真キャンプ場用地案では阿真チジに貯水タンクを造る予定がある。その貯水タンクを造る場合と、浄水場を造る場合とで、実際にどれくらいの伐採の違いがあるのか？どれくらい景観を壊すのか？その差を図面などの資料で教えてほしい。
 - ・ 津波対策は、部品の汎用性や可搬型の海淡など連携というソフト面で対応するというが、村の防災対策とどう連携するのか具体案を示してほしい。
 - ・ 知識のない住民としては、津波被害と森林伐採を天秤にかけられるための情報を出して欲しい。
 - ・ 企業局は、浄水場を高台に造っても、津波が来たら、停電してポンプも被災するから、浄水場だけ助かっても水が作れないのは同じと言うが、その後の復旧は、高台にあるのとないのでは、どちらが早いのか？
（【企業局】それは、浄水場が被災しない方が復旧は早い。）
 - ・ 昨夏にも台風でインターネットが使えなくなり、離島は復旧に随分時間がかかった。座間味島もそれで、大変困った。特に命に関わる大事な水は、なおさらそうならないようにしてほしい。
 - ・ 結局のところ、予算の期限がない、環境省の許可が難しいと言うが、住民の過半数が反対していることを考慮してほしい。
- ★ 欠席者の理由として、「出席して何も意見を言えなかったら、キャンプ場での建設を容認したと判断されるのは非常に心外。議会の答弁などで、企業局の都合のいいように利用されている気がするので、出席したくない」とのこと。

2019年1月11日(金) 午前9時30分～11時の部

【出席者】

(住民2人から聞き取り)

座間味村商工会=1人

座間味村観光協会=1人

座間味村漁業協同組合=欠席

座間味海浜利用事業者連絡協議会=欠席

座間味老人クラブ=1人

阿真区長=1人

阿佐区長=1人

沖縄県企業局=4人

座間味村=2人

1. 村役場挨拶 2. 企業局挨拶 3. 企業局の資料説明(省略)

4. 質疑応答

【住民1】

- ・ 昔、大きな地震を経験していて、最近でもインドネシアで津波が起きたばかり。津波はいつ来るかわからない。浄水場は高台に造るべきである。全国あちこちで津波の避難場所を高台に造ったり、世の中の風潮でもある。
 (【企業局】津波が来たら、電気もダメになり、ダムも被災するので、浄水場が高台にあってもなくても、水が作れなくなるのは同じことと考えている。国立公園の特別地域で、環境省の許可が認められず、高台は景観上よくない。)
- ・ 高台は景観を損ねるとか言っているが、そうであれば、阿真キャンプ場の景観はどうなのか？
- ・ 阿真キャンプ場だと津波が引いた後も、海水が溜まった状態が続いて、機械がより悪くなるのではないか？地盤も不安定ではないのか？
- ・ 阿真キャンプ場でやるくらいだったら、同じ平地だったら、座間味港の海水淡水化施設の近くがいいのではないか？水道施設を集約できて、管理やメンテナンスがしやすく、管路も短くて済む。
- ・ 座間味ダムから阿真キャンプ場まで水を引いて、また排水を座間味港まで持ってくるなんて、どう見ても不経済だ。さらに、阿真キャンプ場から阿佐まで遠い。かなり長く管路を引かなければならず、阿佐集落までには山2つ超えることになる。災害リスクも高いのでは？

- ・ こうやって、何人かの人だけを集めて説得するのはよくない。住民みんなを集めて説明会をまたやると思うが、阿佐区には足の悪い人も多く、座間味までなかなか行けない人もいたので、全体の説明会の前までに、阿佐区公民館で説明会をやってほしい。

【住民 J】

- ・ 阿佐区ではこの事業について知らない人が多い。情報の周知ができていない。阿佐まで来て、役場などが公民館で説明を行ってほしい。

【住民 K】

- ・ 阿真チジに浄水場を作った場合、図面で等高線は 1m 間隔だから、勾配は 15m ほどになるから、擁壁はかなり高くなるのではないかと？
（【企業局】この役場の建物くらいになる。）

【住民 L】

- ・ 阿真チジに浄水場ができると擁壁の高い崖ができるから、土砂崩れなどの危険な場所になってしまう。山の中の道が崩れるとメンテナンスも大変になる。
- ・ もう 1 つの提案地の旧ゴミ捨て場は、昔のゴミが埋められているから、何が埋まっているか分からない。そんな場所に浄水場を建てるのは、いかがなものか？
- ・ 現予定地に反対する住民の署名を集めたいが、それは排水先が変更された情報がない状態で取ったものではないか？

- ★ 村役場からは「環境さえ整えば、役場としては阿真チジでも構わない。必ずしも阿真キャンプ場にこだわっているわけではないが、生活に必要な施設なので、確実に建設したい。」との話。
- ★ 商工会や漁協は、案内の手紙が事務局ではなく、会長個人宅に届けられたため、会長不在の対応に事務局は困惑した。通常でないやり方に疑問を感じる。